

■欧州：2030年のエネルギー効率化目標 32.5%で関係者が合意

欧州委員会、欧州議会、欧州閣僚理事会の3者は2018年6月19日、EUエネルギー効率化指令改定案の内容について、非公式な合意に至った。関係者の間で意見の隔たりがあった2030年のエネルギー効率化目標については、EU全体で32.5%（指標的目標）とすること、少なくとも2023年までにこれを引き上げる方向で見直しをする条項を盛り込むこととされた（欧州委員会による当初案の30%に対し、欧州議会は35%を主張していた）。本改定案は2016年11月に欧州委員会が発表したエネルギー政策に関する一連の法令案（CEP: Clean Energy Package）の一つであり、今後、欧州議会、閣僚理事会のそれぞれにおける正式な採択を経て、成立する運びとなる。